

その症状…

アレルギー

ではありませんか？



アレルギーと言えばスギやヒノキに代表される花粉症を連想しますが、実は身の回りにはそれ以外にも多くのアレルゲン(アレルギーの原因物質)があふれています。季節を問わず症状が現われる方や症状が強くなる方は、アレルゲンを知ることが治療の第一歩です。

検査は少量の採血で行いアレルゲンの特定や重症度を判定します。また「View39」という**食物も含めた39種のアレルギー検査も可能**です。症状にお困りの方はご相談ください。

【年間を通して存在するアレルゲン】



ダニ (ヤケヒョウダニなど)

どの家庭にもいることが明らかになっており、ベッドや布団、カーペットには死骸やフンが多く潜んでいます。掃除は時間をかけて丁寧に。天日干しも有効です。



ペット

ペットのフケもアレルゲンになります。こまめな掃除やブラッシングを行いましょ。屋外飼育や部屋を限定するなど対処法になります。



昆虫 (ガ・ゴキブリなど)

フンや鱗粉などがアレルゲンとなり、ダニと同じぐらいの感作率があります。触れた後は手洗いうがいを入念に行いましょ。



真菌 (ススカビ類・コウジカビ類など)

エアコンを使うと症状が出る場合は内部に潜むカビが原因かも。フィルター掃除などを行いましょ。浴室の換気扇や排水口も同様にお手入れを!

【春の花粉症のおもな原因植物】



スギ

建材として使われ、最も植林面積が広い。花粉症や気管支ぜんそく症状の原因となる頻度が極めて高い。



ヒノキ

スギに次いで植林面積が広い。スギ花粉の飛散時期が終了しても症状が継続する場合は原因として疑われる。



ハンノキ

水辺を好み、低地の湿地や水田のあぜなどに生息。

【夏～秋の花粉症のおもな原因植物】



カモガヤ (イネ科)



ヨモギ (キク科)



ハルガヤ (イネ科)



ブタクサ (キク科)



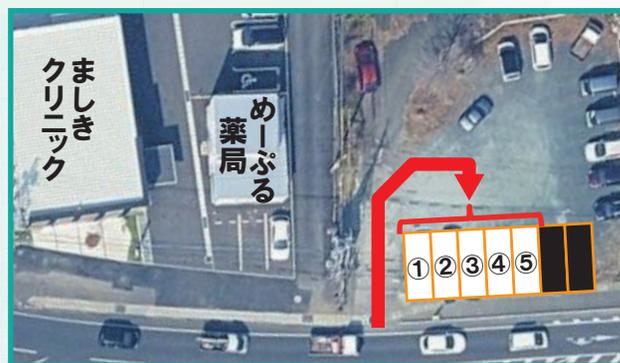
カナムグラ (アサ科)

この時期は草地や道端、河原の周辺など**身近にある雑草**の花粉に注意が必要です。またこれらの花粉の多くは、**春の花粉症状が出る方の多くに反応を示す**ことが分かっています。

県道熊本高森線 4車線化全線開通!

熊本地震で特に被害の大きかった益城町では、県が復興事業として進めてきた県道熊本高森線の4車線化区間の約3・8キロが、3月20日に全線開通しました。2年前の移転直後から始まった当院前の道路と歩道の工事も完了しています。今年には震災から10年の節目。4車線化でますます加速する町の復興の一助になれるよう、スタッフ一同取り組んでまいります。

隣接駐車場のご案内



敷地内駐車場が多い時はご利用ください